

## 令和2年度河内採択地区教科用図書採択協議会議事録（議事要旨）

令和2年7月16日（水）午前8：50～・16日（木）午前9：00～  
宇都宮市教育センター コミュニティホール

### 【出席委員】

小堀茂雄会長，氷室清副会長，清島康伸委員，伊藤三千代委員，関美恵委員，  
松枝健一委員，加藤謙一委員，上原秀一委員，福田治久委員，田口郁子委員  
（小学校）伊藤裕之委員，柴山洋委員，山岸一裕委員，佐藤秀彦委員  
（中学校）柿沼靖雄委員，藤田正義委員，半田哲司委員，荒川幸広委員

### 【事務局】

事務局長（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課長，宇都宮市教育委員会教育センター所長），事務局次長（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課指導グループ係長，宇都宮市教育委員会教育センター相談グループ係長），書記（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課指導主事，宇都宮市教育委員会教育センター指導主事，上三川町教育委員会事務局教育総務課指導主事） 計24名

### 【傍聴者】

21名

### （第1日）

#### 1 開会

#### 2 協議会委員紹介

#### 3 会長あいさつ

#### 4 日程説明

事務局が，令和3年度使用教科用図書採択事務における日程について説明した。

#### 5 議事

##### （1）報告事項

- ① 河内採択地区教科用図書採択協議会規約について
- ② 令和2年度教科用図書採択事務について
- ③ 令和3年度使用教科用図書の採択の基本方針について
- ④ 調査研究における観点について
- ⑤ 特別支援学級用教科用図書等について

##### （2）選定協議及び採決

- ① 中学校 国語
- ② 中学校 書写
- ③ 中学校 地理
- ④ 中学校 歴史
- ⑤ 中学校 国語・書写・地理・歴史の採決
- ⑥ 中学校 公民
- ⑦ 中学校 地図
- ⑧ 中学校 数学
- ⑨ 中学校 理科
- ⑩ 中学校 公民・地図・数学・理科の採決
- ⑪ 中学校 音楽一般
- ⑫ 中学校 音楽器楽合奏
- ⑬ 中学校 美術
- ⑭ 中学校 音楽一般・音楽器合・美術の採決

## 6 事務連絡

事務局が教科書採択に係る今後の日程等について連絡した。

## 7 閉会

(第2日)

### 1 開会

### 2 日程説明

事務局が、令和3年度使用教科用図書採択事務における日程について説明した。

### 3 議事

#### (1) 選定協議及び採決

- ① 中学校 保健体育
- ② 中学校 技術
- ③ 中学校 家庭
- ④ 中学校 英語
- ⑤ 中学校 道徳
- ⑥ 中学校 保健体育・技術・家庭・英語・道徳の採決
- ⑦ 中学校 特別支援学級
- ⑧ 中学校 特別支援学級の採決
- ⑨ 小学校 特別支援学級
- ⑩ 小学校 特別支援学級の採決

### 4 事務連絡

事務局が教科書採択に係る今後の日程等について連絡した。

### 5 閉会

# 教科用図書採択協議会の要旨

(中学校用)

- ◇ 国語
- ◇ 書写
- ◇ 社会（地理的分野）
- ◇ 社会（歴史的分野）
- ◇ 社会（公民的分野）
- ◇ 地図
- ◇ 数学
- ◇ 理科
- ◇ 音楽（一般）
- ◇ 音楽（器楽合奏）
- ◇ 美術
- ◇ 保健体育
- ◇ 技術・家庭（技術分野）
- ◇ 技術・家庭（家庭分野）
- ◇ 英語
- ◇ 道徳

## 1 種目 国語

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書4種12点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」、「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 漢字に触れることは大切なことであると思うが、工夫されている教科書はあったか、説明願う。  
⇒ どの教科書も補的な内容が見られたが、中でも、語彙力を高めることも含めて、内容がより豊かであったのは、東京書籍の巻末の資料であった。
- ・ どの教科書も「学びの扉」や「学びナビ」など、文章や図、漫画を使って、学習内容が予告されたり、まとめられたりと工夫されているようだ。教科書によっては、内容が易しいと感じるほど詳細なものもあるが、そのように詳しく示されているのは、様々な生徒に対する配慮か、説明願う。  
⇒ 資料にもあるとおり、主体的・対話的で深い学びの実現に資するよう、どの教科書も配慮されていた。本地区の生徒の実態に応じるためには、学習意欲を高める工夫をすることが効果的であり、そのような点で、東京書籍が単元の導入部分に「学びの扉」を設け、単元の学習や巻末資料により学びが深まるよう構成していることは有効であると考えられる。
- ・ 教育出版の教科書には、SDGsについて詳しい説明や資料が掲載されているが、国語の学習中に、改めてSDGsについて生徒に説明する場面が必要になると思われるがどうか、説明願う。  
⇒ 宇都宮市ではSDGsを推進しており、教育委員会からは、学校においてもSDGsの取組を推進するよう通達があったので、現在、取り組んでいるところである。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、「書くこと」の単元において、テーマや題材の設定から、情報の収集までの学習過程を丁寧に記載し、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習ができるよう工夫されている。
- ・ また、単元ごとの「学びの扉」で興味・関心を高めてから、巻末で深く学べるよう構成されており、生徒の学習意欲を喚起できるよう配慮されている。
- ・ さらに、単元ごとの「広がる言葉」により、社会生活に生かせる語彙を学べるよう配慮されている。

## 1 種目 書 写

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書4種4点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」、「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 各教科書において、なぞり書きをする箇所があるが、授業では、どのように活用しているのか、説明願う。  
⇒ 主に硬筆で活用し、教科書に直接書くことが多い。
- ・ 通常使用するペン等や、書写で学ぶ毛筆など、様々な筆記具について、学習で扱う割合はどうか。また、教科書によって違いはあるか、説明願う。  
⇒ 基本的には、毛筆が多くなる。また、各教科書とも同等と捉えている。
- ・ QRコードについて、授業でどのように扱っているのか。  
⇒ 現在使用している教科書にQRコードは記載されていないが、姿勢や筆順などが動画で確認できるため、今後、授業において活用できると考える。
- ・ 楷書と行書の違いなど、筆順の指導について、各教科書をどう評価するか、説明願う。  
⇒ どの教科書も、学習を進める中、各所で筆順について取り上げており、指導における問題はないと評価する。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（教育出版）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、主体的な学習を促すため、各学年で身に付けた学習内容を、学校生活や日常生活で実際に生かすことのできる単元が各所に設定されている。
- ・ また、細かな学習段階を設定するとともに、発達の段階に考慮した教材配列が工夫されている。
- ・ さらに、目標が分かりやすく表記されていて、学習課題が把握しやすい。

## 1 種目 社会（地理的分野）

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書4種4点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」、「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 領土、領海の扱いについて各者の違いはあるか、説明願う。  
⇒ 各者とも、学習指導要領解説に記載されている事項を適切に扱っているので遜色ない。
  
- ・ 特に、生徒の興味・関心をかきたてる特徴的な資料を扱っている教科用図書はあるか、説明願う。  
⇒ 各者とも資料、写真が豊富であるが、特に、帝国書院は「世界のさまざまな生活と環境」のページで、それぞれの人々の暮らしの違いが比較しやすい写真資料が掲載されており、興味・関心を高める工夫をしている特徴が見られた。
  
- ・ 新学習指導要領全面実施にあたり、地理の学習において主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習指導ができる配慮はされていたか、説明願う。  
⇒ 特に帝国書院は、内容が詳細に記載されており、知識の定着が図られるよう配慮されている。また、まとめの学習では、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に資する課題が設定されていた。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（帝国書院）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、見開きごとの本文と掲示資料のバランスがよく、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう十分配慮されている。
- ・ また、「地域の在り方を考える」のコーナーで環境や持続可能な社会と今日的な課題を取り上げ、生徒の興味・関心が高まるよう十分考慮されている。
- ・ さらに、世界のさまざまな気候と地域の学習では、写真に「衣・食・住」と明確に表示されており、地域の人々の暮らしの様子が捉えやすいよう十分配慮されている。

## 1 種目 社会（歴史的分野）

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書7種7点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」、「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 教科横断的な学習について、十分配慮されているという東京書籍の特徴について、説明願う。  
⇒ 東京書籍では、地理や公民的分野との関連とともに、保健体育科や技術・家庭科など関連する教科の学習内容まで明示されており、学習指導要領で求められているカリキュラム・マネジメントの推進に役立つ工夫がなされている。
- ・ 各者とも、中世、近代、現代史など時代ごとの分量に違いがあるようだが、授業では、どのようにバランスをとっているのか、説明願う。  
⇒ 本採択地区では、社会科の教員が、使用する教科書を基に年間指導計画を作成しており、内容に不足がある場合は時数を補充したり、郷土の歴史を学習する時間を設けたりするなど、全体としてバランスがとれるよう配慮しながら、授業を行っている。
- ・ 領土・領海などの歴史を含めた近隣諸国との問題の扱いについて、説明願う。  
⇒ 各者とも、本文や特設ページにおいて、政府の見解に則した記述がなされており、問題はないと考えられる。調査員からは、資料が豊富であり、教員にとってもよい資料となっているという意見が出た。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、1単位時間の学習課題と振り返り活動が設定されるとともに、各章の初めに導入の活動や探究課題と探究のステップが明示され、主体的に学習できるよう工夫されている。
- ・ また、「歴史にアクセス」や「もっと歴史」において関連記事や読み物資料を豊富に記載し、補充・発展学習ができるよう工夫されるとともに、章末の「まとめの活動」では、様々な思考ツールを用いて、思考力・判断力・表現力を高める活動を取り入れている。
- ・ さらに、「もっと歴史」において、地理や公民的分野との関連とともに、他教科の教科書の単元名が明記されており、持続可能な社会の実現に向けて、横断的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。

## 1 種目 社会（公民的分野）

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書6種6点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」、「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 他教科との関連について、「明示することが望まれる」という調査結果について、具体的に何を期待しているのか、調査員からどのような意見が出たのか、説明願う。  
⇒ 東京書籍では、小学校で学習した内容や地理的分野、歴史的分野との関連だけでなく、保健体育や道徳など他教科について、学習内容にまで踏み込んだ記述がされており、カリキュラム・マネジメントを推進する際に、参考になるという意見が出た。
- ・ 教科書には、限られた時間の中で、何を学ぶのか、何を伝えていくのか、焦点を絞りながら、エッセンスを盛りこんでいくことが大切であると考え。一方で、他教科との関連については、誰にとって必要なものかなど、教科書に全てを要求することは、酷な気がする。
- ・ 教科書の両端には、本文を補足する資料が掲載されており、グラフがあったり、文字が非常に多いものがあったり、各者の違いを感じるが、調査員からどのような意見が出たのか、説明願う。  
⇒ 各者とも、グラフや地図などを盛り込んで、子どもたちに分かりやすいよう、配慮されていた。特に、1つのグラフではなく、場合ごとに複数のグラフを示しながら、変化を読み取れるよう工夫がなされているものがあり、非常に見やすい示し方であるという意見が出た。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、「みんなでチャレンジ」において、学習内容を踏まえた適切な課題が提示されており、グループで協力しながら取り組むことを通して、主体的・対話的で深い学びを実現することができるよう配慮されている。
- ・ また、学習内容を深く理解することができるようグラフや表など豊富な資料を掲載するとともに、必要とする情報が読み取りやすくなるよう表し方が工夫されている。
- ・ さらに、カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインを使用し、読みやすいよう配慮されているとともに、資料部分の背景が着色されており、本文と明確に見分けることができるよう工夫されている。



## 1 種目 地 図

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書2種2点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」，「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 発行者によっては、地図だけでなく、写真等の資料が充実しているように見受けられる。地図の教科用図書において、そうした資料集的な内容は、授業を行う上で重要であるか、説明願う。  
⇒ 社会科の教科用図書全般において、写真等の資料が充実してきている。また、別途、市販の資料集を使用している学校がある。それらの資料と地図の教科用図書の資料が重複する場合があるため、本来の地図帳の役割を果たすためには、写真等視覚的な資料よりも、地図情報及び統計資料等が充実している方が望ましい場合があると、調査員会で意見が出されていた。
- ・ 面積が変化している西之島などの情報は、地図帳にどのように反映されているのか、説明願う。  
⇒ 火山活動や市町村合併などで変化の生じた地理的内容は、改訂される度に最新の値となるが、更に、発行者から年に数回最新の情報が届けられるので、授業の中で活用している。
- ・ 日本の領土・領海については、正しく示されているか、説明願う。  
⇒ どちらの発行者においても、わが国固有の領土として、最新の情報が掲載されている。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（ 帝国書院 ）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、各地域の主題図がテーマごとに分かれているので、混同することなく読み取ったり、複数の主題図を比較し、関連付けながら思考したりできるよう配慮されている。
- ・ また、近年、国内で発生している様々な自然災害に関し、防災意識が高まる工夫がされている。
- ・ さらに、「世界の諸地域」の一般図でも同緯度・同経度・同縮尺の日本が掲載され、位置や面積が比較しやすいような配慮がされている。

## 1 種目 数 学

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書7種24点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」，「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 各図書ともQRコードがあり、一人一台端末が導入された際には、デジタルコンテンツもそれに合わせて内容が更新されるのか、説明願う。  
⇒ 制作側でないと説明できないが、各者ともQRコードの内容を工夫しており、シミュレーション機能や動画による説明、他教科とのリンクなど、学びを支援することができる。また、一人一台端末が配備されていない場合でも、教師のコンピュータを使用して、テレビに接続し、授業の中で活用することは可能である。
- ・ 東京書籍にある「0章」は他教科にもあるのか、また、「0章」について、調査員はどのように捉えているのか、説明願う。  
⇒ 各者とも小学校との接続を意識した工夫がされているが、本書は、小学校の学習内容である約数・倍数と中学校1年生の素因数分解をつないだ内容を独自に「0章」とし、教科の特性である積み重ねを生かした構成になっており、調査員は高く評価している。また、各者の工夫として、章の導入や巻末で小学校から中学校へのギャップを埋める手立てが講じられている。
- ・ 先生が教科書を扱う上で、小学校算数でつまずいた生徒が中学校数学に円滑に移行できるような学習内容になっているか、説明願う。  
⇒ 学習を進めていく中で、系統的に繰り返し学習する内容があるため、その都度復習しながら確認できる学習内容となっているとともに、小・中の接続だけでなく、中・高の接続も意識した発展的な内容も取り扱っている。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、学習のねらいに沿った問題「Q」が設定されており、生徒が主体的に考え、議論することで問題解決ができる授業展開になるよう工夫されている。
- ・ また、各節の導入では、身近な場面における数学的な事象を多数取り上げており、生徒が興味・関心を持てるよう工夫されている。
- ・ さらに、章の学習を通して学びの深まりが感じられるように、各節の導入で関係性の高い内容を扱う工夫が見られる。

## 1 種目 理 科

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書5種15点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」，「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 学習を安全に行う上での配慮について、各者にどのような差異がみられるのか、説明願う。  
⇒ 安全上の注意点について、配色やマークなどの視覚的な部分での工夫の差が見られた。
- ・ 生徒が見通しをもって主体的に学習することができるような工夫があるとのことだが、各者でどのような違いがあるのか、説明願う。  
⇒ 評価が高かった教科書は、探究が深められるような配列となっており、自然と探究の技能が身に付くような工夫が見られた。
- ・ ユニバーサルデザイン化の視点での配慮について、各者に大きな差異があるのか、説明願う。  
⇒ 各者とも工夫されており、差異は少なかったが、配色の配慮や見やすさなどで差がみられた。
- ・ 1者だけ縦長の特徴的なサイズになっているが、調査員の中でどんな意見があったか、説明願う。  
⇒ 見慣れないサイズに違和感はあるが、探究の過程に適した配置になっているとの意見があった。一方で、他者の横長のサイズの教科書は、写真等の配置に効果があるとの意見があった。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（ 新興出版社啓林館 ）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、探究実験や「みんなで探Qクラブ」においては、生徒が自ら仮説や計画を立てることができるよう工夫されている。
- ・ また、「基本のチェック」「力だめし」「総合問題」が設けられ、段階的に学習の定着を図ることができるよう配慮されている。
- ・ さらに、「つながる学び」を設け、小学校を踏まえた学習ができるよう工夫されるとともに、高校で学習する内容を「発展」として取り上げることで、学習内容の系統性を意識することができるよう配慮されている。

## 1 種目 音楽（一般）

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書2種6点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」、「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 観点1（2）主体的・対話的で深い学びについて、新学習指導要領でもキーワードとなっているが、それぞれの項目が同じ重みなのか、項目によって重みが変わってくることもあると思うが、どう考えているか、説明願う。  
⇒ 観点1（2）主体的・対話的で深い学びについては、どちらの教科書も配慮されていたが、教育出版では、「ACTIVE！」や「比べてみよう」が設定され、比較したり関連付けたりすることで学びが深まるように配慮されているという意見があった。
- ・ 「日本とアジアをつなぐ音」と他教科との関連とはどのようなことか、説明願う。  
⇒ 「日本とアジアをつなぐ音」は、日本だけでなくアジアに注目した楽器や音楽を紹介する内容であり、世界の音楽についても、伝統や歴史について学ぶ内容が、どちらの教科書にも掲載されている。社会科との関連として、この時代にこうした音楽が作られているといった内容が、歴史と関連付けながら指導することができるよう配慮されている。また、地図が示されている教科書と示されていない教科書があるが、地図が示されていることで、地域的な背景とも関連を図りながら学習することができるよう配慮されている。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

（1）選定した発行者（教育芸術社）

（2）主な理由

- ・ 本書は、在学中や卒業後も生涯にわたり音楽文化に親しむことができるよう、多彩なジャンルや作品を扱うとともに、音楽が生活や社会文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつのか生徒が意識的に考え、理解が深まるよう配慮されている。
- ・ また、「My Voice！」では、発声法について発展的な学習ができるとともに、「指揮をしてみよう」では、音楽を指揮で表現し、より豊かな音楽活動につなげられるよう工夫されている。
- ・ さらに、各学年で英語の歌を扱うなど他教科との関連が図れるようにするとともに、「伝統をつなぐ」、「音楽ってなんだろう」など人権教育や道徳科との関連が図れるよう配慮されている。

## 1 種目 音楽（器楽合奏）

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書2種2点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」、「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 教科書に掲載されている様々な楽器について、生徒数分の準備など、どのように対応しているのか。また、年間で何種類くらいの楽器を扱っているのか、説明願う。  
⇒ 箏やギターなど学校間で貸借を行うなど工夫している。和楽器については、箏を扱っている学校が多く、各学校で3面以上は整備されている。さらに、ギターやキーボードを扱っている学校もあり、各学校、年間で2種類は扱っている。
- ・ QRコードについて、どのような情報が掲載されているか、説明願う。  
⇒ 教育出版では、巻頭にQRコードがあり、楽曲を聴いたりすることができる。また、教育芸術社では、作曲者などの説明を確認することができる。
- ・ 教育出版では、「生活や社会の中の音や音楽との関わりについて理解が深まるように配慮が望まれる。」とあるが、どういった説明や写真の掲載に配慮が望まれるか。また、教育芸術社に掲載されている「郷土の祭り」の郷土とは、日本全国の祭りという意味か、説明願う。  
⇒ どちらの教科書にも説明は、掲載されているが、教育芸術社では、時代背景や歴史、文化などが詳しく掲載されている。また、郷土の祭りについては、栃木県だけでなく、どの地方にも残っているものを生徒に紹介したいという思いがあり、楽器ごとに4枚程度の写真が提示されているため記載した。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（教育芸術社）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、学習目標や具体的な学習活動を分かりやすく提示することで、学習の見通しをもたせるとともに、「深めよう音楽」では学びの手がかりとなるヒントを掲載する等、生徒の主体的・対話的で深い学びを促し、学習を深められるよう配慮されている。
- ・ また、生活や社会と音楽とのつながりを実感し、器楽への親しみがもてるとともに、郷土の祭りや芸能の写真に掲載することで、音楽が生活や社会と結びついていることを学習できるよう配慮されている。
- ・ さらに、生徒にとって親しみやすい楽曲や「バンドの世界をのぞいてみよう」を取り上げ、楽器への興味・関心を高めるとともに、同世代の音楽活動を提示するなどして、我が国の伝統楽器を身近に感じられるよう考慮されている。

## 1 種目 美術

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書3種7点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」、「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 用具の安全な使い方への各者の扱いの差について、説明願う。  
⇒ 各者とも配慮されているが、生徒がイメージしやすいように、彫刻等などのけがをしやすい道具の使い方について、文章以外に図などを用いているかどうかには差がある。
- ・ 光村図書出版において、「問い」が示されているが、説明願う。  
⇒ 光村図書出版では、作品を鑑賞する場合に、作品の印象を問うことで、その後の表現活動につなげやすくするなどの工夫がされている。
- ・ 光村図書出版における、図画工作科から美術へのつながりの扱いについて、説明願う。  
⇒ 小学校では、感じたことを表現する楽しさ、中学校では、美術への感動や、自ら構成し直して表現したりすることなどが違いであり、分かりやすく扱われている。
- ・ 生徒が実感をもって、美術を感じられる題材例について、説明願う。  
⇒ 光村図書出版の「2・3年」では、トレーシングペーパー（薄紙）を綴じ込んでおり、作品の見方を深められるよう、生徒の好奇心に配慮している。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（光村図書出版）

(2) 主な理由

- ・ 本書は「目標」が分かりやすく提示され、生徒が主体的に学習を進めることができるよう配慮されている。
- ・ また、1学年では、図画工作科との関連を図りながら、題材の中で、表現及び鑑賞を一体的に扱うことが分かる構成、配列にすることで、学習の流れが理解できるよう工夫されているとともに、2・3学年では、鑑賞を通じて、作品の見方をさらに深めたり、広げたりできるよう作品の系統性について工夫されている。
- ・ さらに、「〇〇科とのつながり」というコラムを設けて、他教科等との関連を写真やイラスト等で具体的に示すことで、効果的な学習ができるよう配慮されるとともに、「道徳科とのつながり」では、題材と関連する指導の内容が具体的に示されている。

## 1 種目 保健体育

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書4種4点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」、「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 各発行者において、生徒が学習に興味をもち、調べるなど発展的な学習ができるよう配慮されているが、東京書籍ではどの部分で配慮されているのか、説明願う。  
⇒ 全体を通して、生徒の興味・関心を引き出すよう資料が工夫されているとともに、考えを広げるための内容も示され、学びを深めることができるよう配慮されている。
- ・ 発行者により喫煙や薬物に関するイラストや写真に違いがあるが、どのように捉えているのか。また、けがなどの対処の方法について、取り扱っている内容に違いがあるが、どのように捉えているのか、説明願う。  
⇒ 喫煙や薬物に関する資料については、イラストや写真などの違いはあるが、発行者による配慮と捉えている。けがなどの対処の方法については、取り扱っている内容に違いはあるが、各発行者とも、学習指導要領で示されている内容に関して適切に取り扱っている。
- ・ L G B Tへの配慮について、東京書籍では「性の多様性」として扱っているが、他の発行者では、どのように取り扱っているのか、説明願う。  
⇒ 心身の機能の発達の学習において、補助的な内容として扱っている発行者もある。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、「見つける」→「課題の解決」→「活用する」→「広げる」の構成となっており、自ら課題を発見し、学びを深めることができるよう配慮されているとともに、「活用する」では、他者に説明したり、話し合ったりする活動が設定されており、より深く考えられるよう配慮されている。
- ・ また、「発達の段階に応じた資料が分かりやすく配慮されているとともに、キーワードを用いて学習課題が示され、本時の学習内容が明確になることで見通しをもつことができるなど、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。
- ・ さらに、資料やイラストが多く掲載されており、内容が視覚的に理解できるよう配慮されているとともに、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインが採用され、紙面の色数も限定された見やすく落ち着いたレイアウトとなるよう配慮されている。

## 1 種目 技術・家庭（技術分野）

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書3種4点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」、「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 技術は、他教科における学習内容との関連が、生徒も先生も分かりにくいと思われる。そこで、3つの発行者を比較したときの記載方法の特徴について、説明願う。  
⇒ 東京書籍は、関連のある内容のページに小学校及び中学校の学年や単元名が示されている。開隆堂は、関連のある学年や単元名は示しているが、各領域の初めにまとめて示されている。教育図書は、小学校の教科、中学校の教科名が示されている。
- ・ プログラミングについての記載があったと思うが、これからの時代は重要になると思う。ローマ字や仮名表記、キーボード、専門的な用語の説明が東京書籍や開隆堂には見られたが教育図書には見られなかった。このことについて、どのような意見があったか、説明願う。  
⇒ 3つの発行者とも様々なプログラミング言語を扱っており、実態に応じた活動が可能であると意見があった。内容については、小学校の段階で履修する内容についても細かに表記してある発行者もあると意見があった。
- ・ 構成、配列、系統性について、東京書籍が十分配慮されたという評価であるが、調査員からのどのような意見があったのか、説明願う。  
⇒ 問題解決学習の「評価、改善、修正」をまとめとして記しているということが他の発行者との大きな違いであり、そこを重要視していた。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、各領域のまとめにおいて、「評価・改善・修正」を提示し、振り返りや問題解決に向けた思考力を高めるような工夫がされている。
- ・ また、「他教科」というマークが設けられており、履修学年や内容を明確にするとともに、他教科との関連を図りながら学習を進めていけるように配慮されている。
- ・ さらに、「技術の見方・考え方」が示され、生徒が学習活動の際にその視点を意識できるような工夫がされており、さらに生活の中における問題の発見や課題の設定を主体的に取り組めるような配慮がされている。



## 1 種目 技術・家庭（家庭分野）

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書3種3点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」，「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 教科書によって題材の配列に違いがあったが、そのことについて調査員会ではどのような感想等があったか、説明願う。  
⇒ 東京書籍は「食生活」、教育図書と開隆堂出版は「A家族・家庭生活」から始まる配列である。中学校入学後、最初に行う学習は、「A家族・家庭生活」の内容にあるガイダンスであり、3年間の学習の見通しをもたせることになっているため、「A家族・家庭生活」が最初に配列されている教科書の方が、より望ましいと判断した。
- ・ 観点2（3）において、教育図書は「十分に配慮されている」となっており、開隆堂出版は「配慮されている」となっているが、何か違いがあるのか、説明願う。  
⇒ 東京書籍や教育図書には、巻頭に安全や衛生に関するページがあり、より丁寧に安全への配慮がなされていたため、「十分に配慮されている」とした。開隆堂出版は、調理実習の安全や衛生について示されていたため「配慮されている」とした。
- ・ 社会の中の様々な家族の在り方について、開隆堂出版が里親制度を取り上げていた。他の2者は、家族の多様な在り方についてどのように扱っているのか、説明願う。  
⇒ 開隆堂は、ワークライフ・バランスや里親制度などの記載があり、結婚をして家族をもつことだけでなく、長い人生の中で変わっていく家族について考えられる内容が顕著であった。東京書籍は家族についての絵本、教育図書はアニメや漫画に登場する家族のイラストにより、様々な家族の形があることを示していた。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（開隆堂出版）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、学習の目標が見やすく提示されるとともに、「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」などの活動を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に資するものとなっている。
- ・ また、生活の変化に着目した統計データや科学的根拠に基づいたデータが多く用いられ、生徒の学習内容への関心が高まるように考慮されている。
- ・ さらに、「先輩からのエール」「生活に生かそう」で里親制度やジェンダー等を取り上げ、これからの家庭生活や社会の在り方についての新しい視点からも学習が深められるように工夫されている。

## 1 種目 英 語

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書6種18点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」，「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるように配慮されているかの観点において、各教科書の配慮に差があるのか、説明願う。  
⇒ 十分配慮されている教科書においては、教師や友達と意見交換する場面が多く設けられ、他者の考えに触れることにより、自分の考えが深まるよう工夫されていた。一方で、配慮を望まれる教科書においては、そういった場面の設定が少ない。
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるように配慮されているかの観点において、学びを深める活動として注目した点について説明願う。また、この観点で、十分配慮されているとされた教科書では、対話活動が充実していたのか、もしくはそれ以外の視点があつたのか、説明願う。  
⇒ 十分配慮されているとされた教科書では、言語活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりする場面が多く設定されていたり、即興でやり取りする際には、活動を支える補助資料などが巻末資料に収録されていたりするなど、工夫されている。
- ・ 小学校との接続に係る内容が充実している教科書の工夫について、説明願う。  
⇒ 各単元において、小学校で学習した単語や表現には、分かりやすく「小」と表示され、既習表現を思い出し、中学校で発展的な言語活動が段階的に実施できるよう工夫している。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、Stage Activity では、友人と対話したり、グループで意見を即興で交換したりする活動が設定され、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるように工夫されている。
- ・ また、単元ごとにある Grammar for Communication で豊富な例文や図解を用いて文法の概念を分かりやすく理解させ、発展的な学習として Stage Activity が設定され、単元で学習したことを活用して4技能5領域の統合的な活動を行うことができるよう配慮されている。
- ・ さらに、見通しをもって学習に取り組めるよう単元毎の目標が明確に示されており、段階的に学習できるように配慮されている。

## 1 種目 道 徳

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書7種27点の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」，「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 巻頭の目次等において、視点、テーマの分類に違いが見られるが、それらは生徒の興味・関心に影響するものであるのか、説明願う。  
⇒ 巻頭での分類と併せ、各教材のページに内容項目やテーマが示され、生徒が問いをもち、考えを深めたりできるようになっているため、目次のみでの判断は難しく、また、どの示し方も、それぞれの意図に基づいて工夫されているものと考えられる。
- ・ 道徳科の教科書については、各学年の教材の内容が適しているかという点が、悩むところであると考え。また、設定されている発問やコーナーを活用し、授業を進めていくことになると思うが、それらに関する調査員の判断について、説明願う。  
⇒ 学習指導要領で求められる、主体的・対話的で深い学びの実現について、観点1（2）で報告したように、光村図書出版については、多面的・多角的に考えられるような発問構成であり、誰にでも扱いやすいという意見が出されていた。
- ・ 道徳科において、生徒が多面的・多角的に考えられるようにするために、各教科書はどのようになっているのか、説明願う。  
⇒ 一方向からではなく、異なる方向からも考えることができるように工夫した発問が設定されているものが見られた。また、多くの教科書において、一つの出来事を様々な立場から考えることができるよう、複数の登場人物それぞれの気持ちを吹き出しに記入するなどして考えられるようにする工夫が見られた。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（光村図書出版）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、各教材の最後にある「考えよう」ではめあてが示され、主体的に考えられるよう工夫されているとともに、「見方を変えて」の発問により多面的・多角的に考え、さらに、「つなげよう」の問いで、考えを深められるよう配慮されている。
- ・ また、絵本や新聞記事など、生徒が身近に感じたり共感したりすることができる教材や、古くから読み継がれ、生徒の心を揺さぶる教材が充実している。
- ・ さらに、「深めたいむ」により、問題解決的な手法、話し合い学習の手法が取り入れられているとともに、「広げよう」により、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるよう配慮されている。

# 教科用図書採択協議会の要旨

(小・中学校特別支援学級用)

◇ 小学校

◇ 中学校

## 1 種目 小学校特別支援学級 学校教育法附則 9 条図書

### 2 選定協議

#### (1) 調査報告

調査研究の対象となった2種2点について、調査員6名で調査し、その結果を調査研究資料により報告した。（「参考3」参照）

#### (2) 図書閲覧

調査研究を行った全ての図書を採択協議会委員が閲覧し、調査研究および報告に対する確認を行うとともに、選定について検討を行った。

### 3 採択協議会における主な協議内容

- ・ 「いちばんわかりやすい 小学生のための学習日本地図帳」は、今年度何名の児童が使用しているのか。  
⇒ 今年度、使用している児童はいない。
- ・ 「わくわくチャレンジ えいごめいろ24」と検定本を比較すると、内容の差が大きいと思われる。附則第9条図書として採択されなかった場合には、教科用図書として何を使用することになるのか。  
⇒ 特別支援学級では、該当学年の内容を学習することが適切でない場合は、下学年の内容を取り扱うことになる。そのため、外国語の場合は、（検定本を使用しながら）下学年の学習内容である外国語活動の教材を参考にするようになる。

### 4 採択協議会における選定結果

#### (1) 「いちばんわかりやすい 小学生のための学習日本地図帳」

- ・ 結果： 選定する
- ・ 理由： 学習指導要領に示されている目標と内容に適合しているとともに、児童の興味・関心に応じられるように、日本各地の特徴が写真を多く取り入れて紹介されている。

#### (2) 「わくわくチャレンジ えいごめいろ24」

- ・ 結果： 選定しない
- ・ 理由： 児童の興味・関心を高めるような昔話や迷路を取り入れているが、学習指導要領に示されている「話すこと」の内容が不十分である。

## 1 種目 中学校特別支援学級 学校教育法附則 9 条図書

### 2 選定協議

#### (1) 調査報告

調査研究の対象となった10種12点について、調査員5名で調査し、その結果を調査研究資料により報告した。「参考4」参照

#### (2) 図書閲覧

調査研究を行った全ての図書を採択協議会委員が閲覧し、調査研究および報告に対する確認を行うとともに、選定について検討を行った。

### 3 採択協議会における主な協議内容

- ・ 特別支援学級において、通常の学級で使用する検定本を何名の生徒が使用しているのか。また、著作本や附則第9条図書を何名の生徒が使用しているのか。

⇒ 本採択地区の特別支援学級に在籍している生徒は、約320名であり、ほとんどの生徒が、検定本を使用している。著作本を使用している生徒は、国語1名である。附則第9条図書を使用している生徒は、国語4名、社会6名、数学6名、保健体育6名、家庭6名である。

- ・ 「もうモヤモヤしない！気持ちの伝え方」は、特別支援学級に在籍している生徒にとって使い勝手がよいと考えるがどうか。

⇒ 対人関係を適切に構築していくための必要なスキルを学べる図書ではあるが、学習指導要領に示す内容のうち、人との関わりに関する内容に限定されており、道徳の教科用図書としては課題があると考えられる。

### 4 採択協議会における選定結果

#### (1) 「くらしに役立つ国語」

- ・ 結果： 選定する
- ・ 理由： 学習指導要領に示されている内容がバランス良く取り上げられているとともに、あいさつや敬語の使い方など日常生活に役立つ内容が示されている。

#### (2) 「朝のペン字 練習帖」

- ・ 結果： 選定しない
- ・ 理由： 学習指導要領に示されている内容のうち、硬筆の内容に限定されており、毛筆についての内容が不足している。

(3) 「くらしに役立つ社会」

- ・結果：  選定する
- ・理由： 学習指導要領に示されている内容が適切に取り上げられているとともに、公共の交通機関の利用の仕方など日常生活に役立つ内容が示されている。

(4) 「読んで見て楽しむ日本地図帳 増補改訂版」

- ・結果：  選定しない
- ・理由： 学習指導要領に示されている内容のうち、日本に関する内容に限定されており、世界の諸地域についての内容が不足している。

(5) 「くらしに役立つ数学」

- ・結果：  選定する
- ・理由： 学習指導要領に示されている内容が幅広く取り上げられているとともに、買い物やスケジュールなど、日常生活に役立つ内容が丁寧に取り上げられている。

(6) 「くらしに役立つ理科」

- ・結果：  選定する
- ・理由： 学習指導要領に示されている内容が適切に取り上げられているとともに、災害への対策など、生徒が日常生活で活用できる内容が多く取り上げられている。

(7) 「自立生活ハンドブック4 からだ！！ げんき！？」

- ・結果：  選定しない
- ・理由： 学習指導要領に示されている内容のうち、保健分野の体の仕組みや病気に関する内容に限定されており、体育分野や、保健分野の傷害の防止、健康と環境の内容が不足している。

(8) 「くらしに役立つ保健体育」

- ・結果：  選定する
- ・理由： 学習指導要領に示されている目標や内容に沿って項目がつけられているとともに、健康で安全に生活していくために必要なことや、具体的な対応方法など、病気やけがをしたときの日常生活に役立つ内容が示されている。

(9) 「くらしに役立つ家庭」

- ・結果：  選定する
- ・理由： 学習指導要領に示されている内容が幅広く取り上げられているとともに、調理の仕方や衣服の洗濯の仕方など日常生活に役立つ身近な内容が示されている。

(10) 「まんぷくりょうり&かんたんおやつ」

- ・結果：  選定しない
- ・理由： 学習指導要領に示されている内容のうち、調理の内容に限定されており、家庭生活や消費生活などに関する内容が不足している。

(11) 「ドラえもん 英語図解辞典」

- ・結果：  選定しない
- ・理由： 学習指導要領に示されている内容のうち、「書くこと」「聞くこと」の内容が不足しており、文法に関する内容も不十分である。

(12) 「もうモヤモヤしない！気もちの伝え方」

- ・結果：  選定しない
- ・理由： 学習指導要領に示されている内容のうち、「人との関わりに関すること」に限定されており、「集団や社会との関わりに関すること」や、「生命や自然，崇高なものとの関わりに関すること」などを扱う内容が不足している。